



2027年3月期 1Q 連結

アナリスト向け決算説明会

2026年8月6日



1 決算のポイント



■ 組織および体制関連

□ 4月1日付組織再編

- ・ 営業担当と事業担当の連携をこれまで以上に強化し、提供するサービスの価値を最大限に生かした提案営業を推進するため、「マーケットディベロップメント本部」を改組。

□ 4月1日付で、製造セグメントへの対応領域拡大、および名古屋地区における当社企業グループの対応力強化を目的に、(株)オフィスメーションを子会社化。

■ 事業関連

□ 4月7日 当社の「生成AI環境構築サービス」が、AWS ファンデーションアルテクニカルレビュー (FTR) の認定を取得。

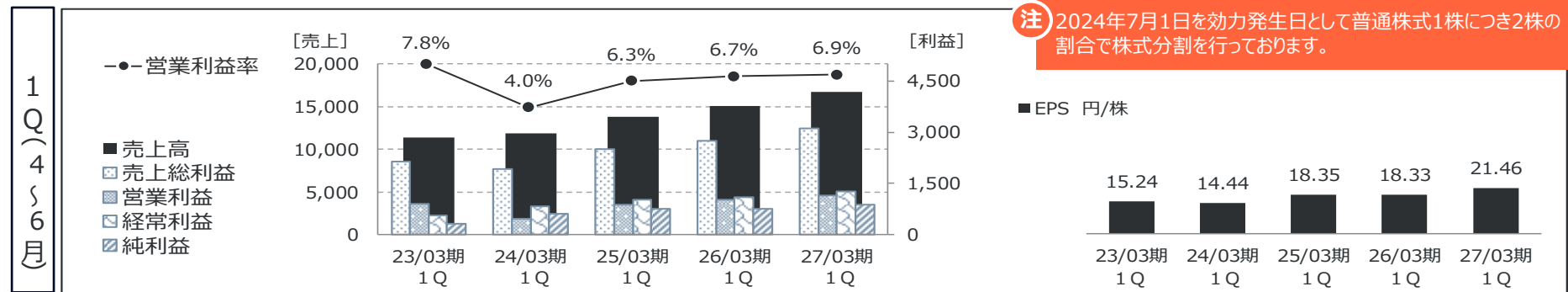
1 決算のポイント 1.2. 売上高・利益

【注】（ ）内の数字は各々の利益率を表します。
【注】「純利益」は「親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益」です。

- 原油高や円安によるインフレリスクはあるものの、ITサービス事業の堅調な伸びや、生成AIを活用した情報システム投資案件の引き合い増加、また新規連結効果もあり、売上高は前年同期比10.6%の増収。
- 不採算案件減少および売上増加に伴い、営業利益、経常利益、当期純利益いずれも同10%超の増益。

[単位：百万円未満切捨]

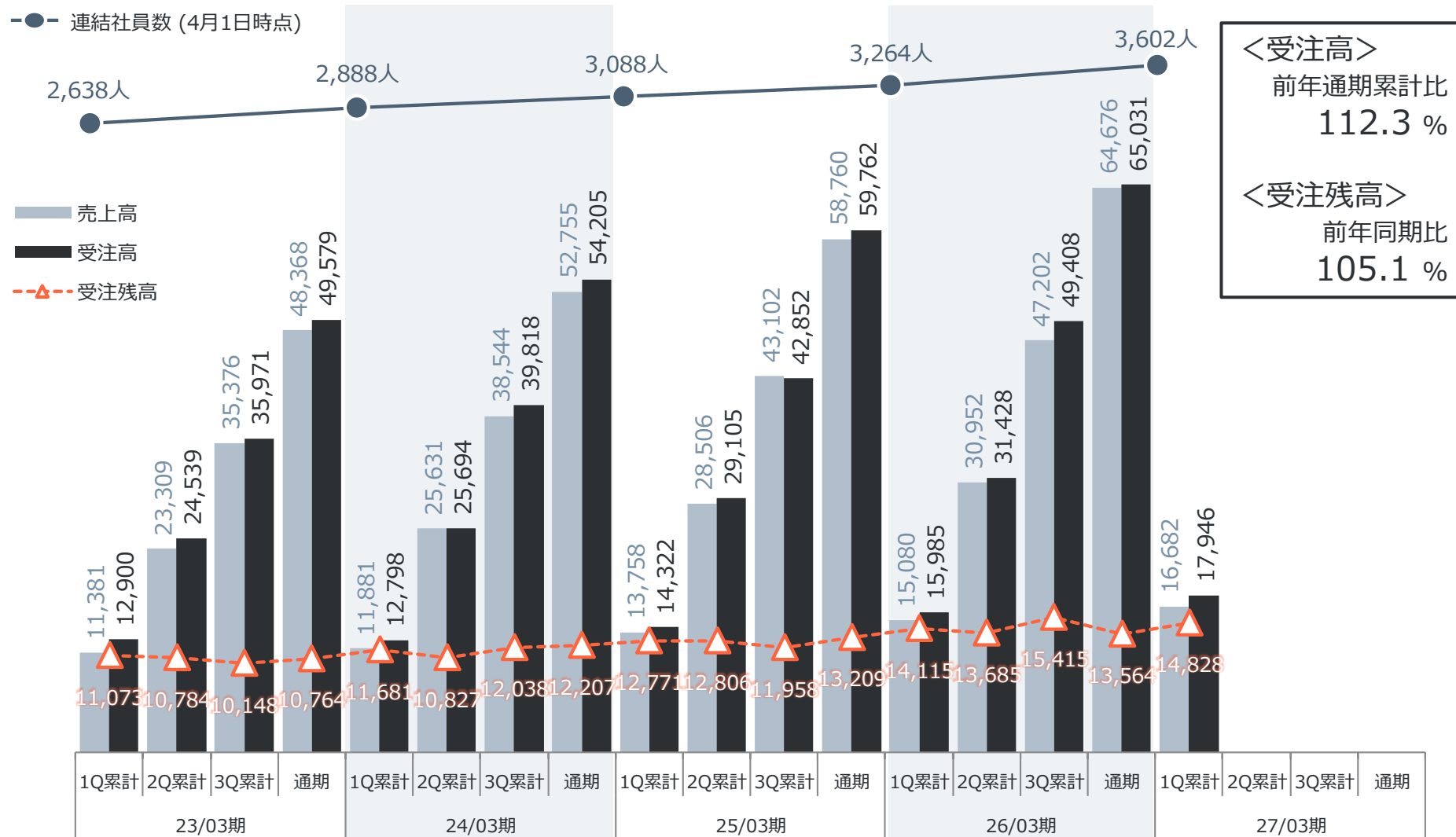
1 Q 累 計		25/03期		26/03期		27/03期		前年 同期比	対 2 Q累計 進捗率	2Q累計 業績予想	
										26/5/8 予想	前年 同期比
	売上高	13,758		15,080		16,682		110.6%	48.6%	34,360	111.0%
	売上総利益	2,497	(18.2%)	2,744	(18.2%)	3,108	(18.6%)	113.3%			
	営業利益	870	(6.3%)	1,014	(6.7%)	1,149	(6.9%)	113.3%	39.4%	2,920 (8.5%)	107.3%
	経常利益	1,027	(7.5%)	1,095	(7.3%)	1,254	(7.5%)	114.5%	42.0%	2,990 (8.7%)	104.3%
	純利益	756	(5.5%)	754	(5.0%)	864	(5.2%)	114.6%	41.5%	2,085 (6.1%)	101.5%
	EPS 円/株	18.35		18.33		21.46				51.94	





[単位：百万円未満切捨]

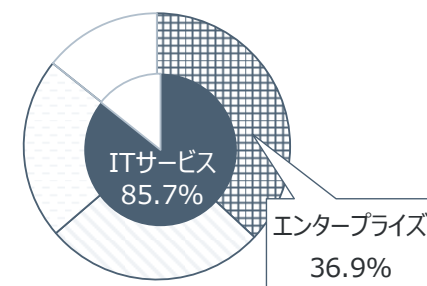
- 受注高が前年同期比10%超、受注残高は同5%の増加。
- 地政学リスクや円安進行等への警戒感はあるものの、企業のDX推進ニーズは依然堅調。



1 決算のポイント ✖ 1.4. セグメント別売上高・利益 [ITサービス事業：エンタープライズ]

セグメント	サブセグメント
ITサービス	・コンサルティング ・IT企画 ・開発・保守の総合サービス
	エンタープライズ - 情報・通信・広告、流通サービス、運輸、 - 人材紹介・人材派遣、公共、資源・エネルギー、 - 建設・不動産、旅行・ホテル、医療・ヘルスケア、その他

<セグメント別の売上高比率:1Q(4～6月)>



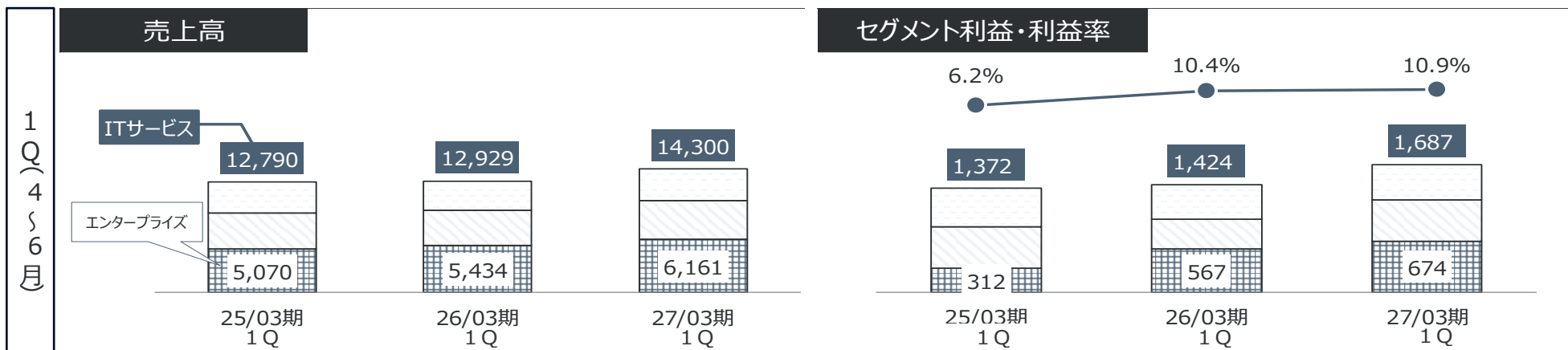
■ 売上高：61億61百万円（前年同期比 13.4%↑）

- ・ 当社において「旅行・ホテル」、「その他」の受注が増加。また、連結子会社において「公共」、「医療・ヘルスケア」分野の受注が増加。

■ セグメント利益／利益率：6億74百万円／10.9%（前年同期比 18.8%↑）

- ・ 売上高の増加と同様の理由。

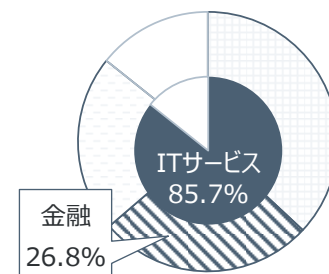
[単位：百万円未満切捨]





セグメント		サブセグメント	
IT サービス	・コンサルティング	金融	銀行、保険、その他
	・IT企画 ・開発・保守の総合サービス		

<セグメント別の売上高比率:1Q(4～6月)>



■ 売上高：44億65百万円（前年同期比 8.5%↑）

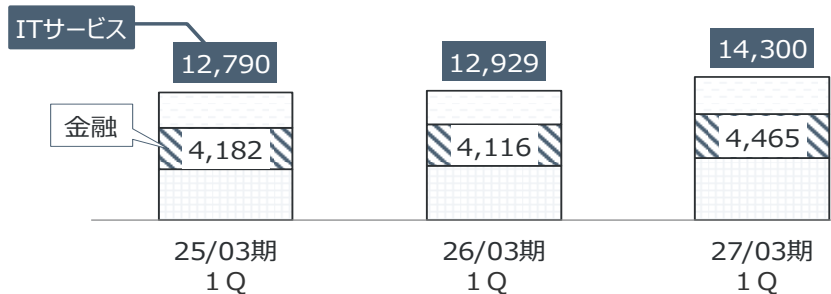
- 特に「銀行」分野の受注が順調に拡大。

■ セグメント利益／利益率：5億41百万円／12.1%（前年同期比 35.8%↑）

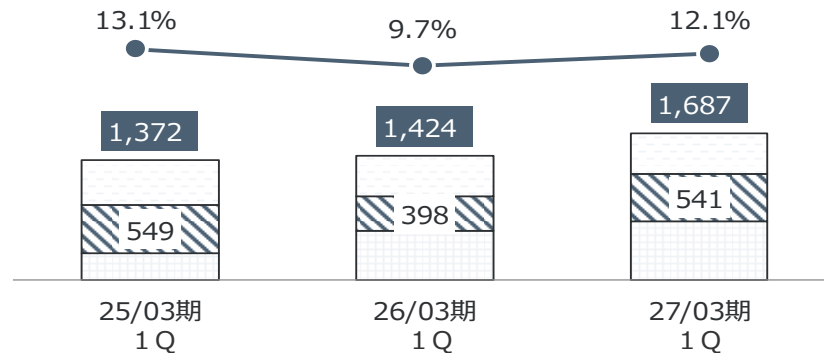
- 売上高の増加と同様の理由。また、特に「銀行」分野で収益性の高い案件獲得。

[単位：百万円未満切捨]

売上高



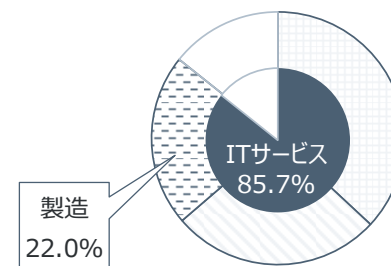
セグメント利益・利益率





セグメント		サブセグメント	
IT サービス	・コンサルティング ・IT企画 ・開発・保守の総合サービス	製造	自動車、輸送機器、機械・エレクトロニクス、その他

<セグメント別の売上高比率:1Q(4～6月)>



■ 売上高：36億73百万円（前年同期比 8.7%↑）

- 「自動車・輸送機器」分野で当社受注が堅調に伸びたことに加え、「機械・エレクトロニクス」「その他」分野において(株)エイプスや(株)オフィスメーションを新規連結した効果によるもの。

■ セグメント利益／利益率：4億70百万円／12.8%（前年同期比 3.0%↑）

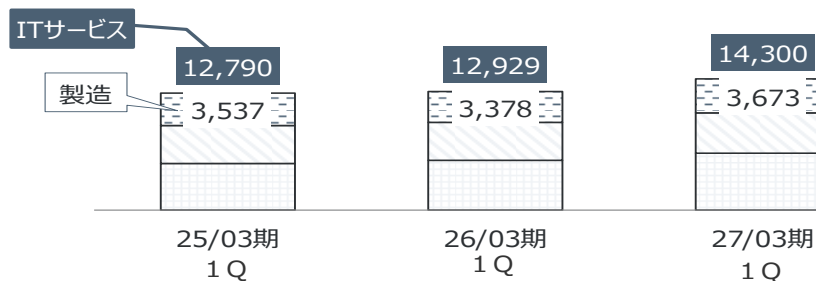
- 売上高の増加と同様の理由。

[単位：百万円未満切捨]

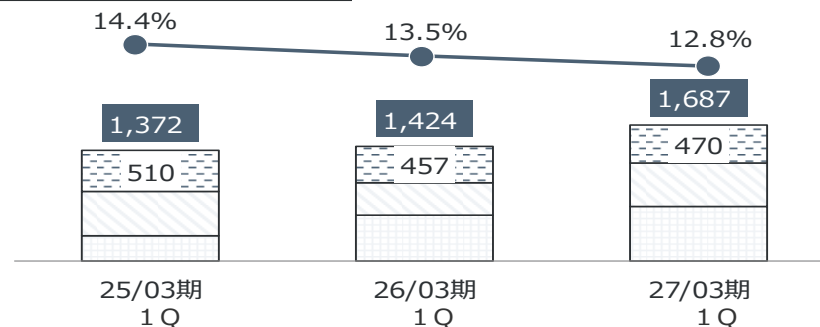
1
Q
累
計

1
Q
(
4
～
6
月)

売上高



セグメント利益・利益率

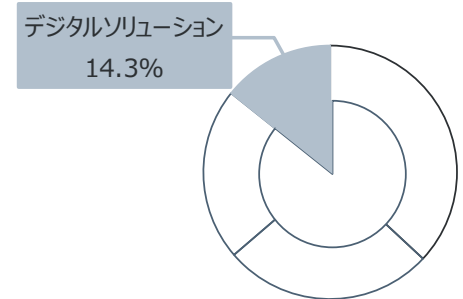




1.7. セグメント別売上高・利益 [デジタルソリューション事業]

セグメント	事業
デジタルソリューション	顧客のDX実現を支援する製品・サービスからなるソリューション群 <主な製品・サービス名> クラウド関連サービス（Creage等）、Robotics関連サービス（UiPath等） ERP導入関連サービス、開発品質向上サービス（TrustCodeHub等）

<セグメント別の売上高比率:1Q(4～6月)>



■ 売上高：23億81百万円（前年同期比 10.7%↑）

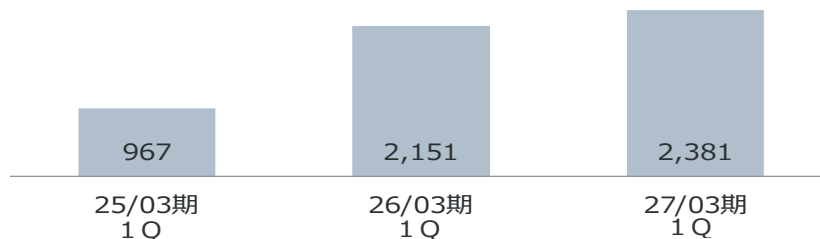
- Creageサービスの販売増加に加え、(株)アイエステクノポート新規連結効果によるもの。

■ セグメント利益／利益率：1億29百万円／5.4%（前年同期比 19.5%↓）

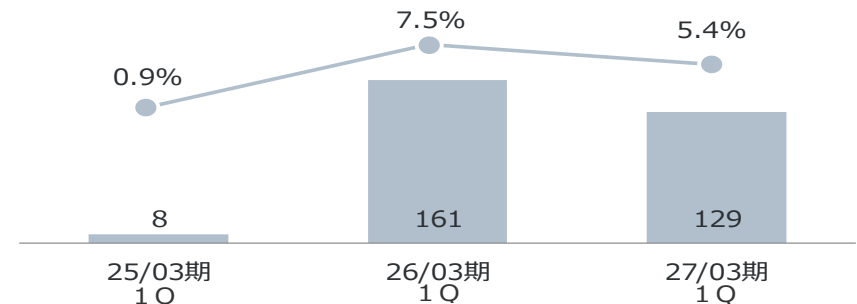
- 連携子会社において、前期より不採算案件が発生したため減少。

[単位：百万円未満切捨]

売上高



セグメント利益・利益率





2 2027年3月期の見通し



- 2026年5月8日公表の2027年3月期連結業績予想（2Q累計および通期）に変更なし。
- 今後の状況や事業動向等を踏まえ、業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに開示。

[単位：百万円未満切捨]

2 Q 累 計	26/03期						27/03期	
	25/5/9 予想	前年 同期比	実績	前年 同期比	達成率		26/5/8 予想	前年 同期比
	売上高	31,100	109.1%	30,952	108.6%	99.5%	34,360	111.0%
	売上総利益			5,981 (19.3%)	107.9%			
	営業利益	2,870 (9.2%)	110.0%	2,720 (8.8%)	104.3%	94.8%	2,920 (8.5%)	107.3%
	経常利益	2,890 (9.3%)	104.6%	2,867 (9.3%)	103.8%	99.2%	2,990 (8.7%)	104.3%
	純利益	1,950 (6.3%)	103.8%	2,054 (6.6%)	109.3%	105.3%	2,085 (6.1%)	101.5%
	EPS 円/株	47.58		50.18			51.94	

通 期	26/03期						27/03期	
	25/5/9 予想	前年 同期比	実績	前年 同期比	達成率		26/5/8 予想	前年 同期比
	売上高	64,000	108.9%	64,676	110.1%	101.1%	71,500	110.5%
	売上総利益			13,110 (20.3%)	111.3%			
	営業利益	7,000 (10.9%)	117.0%	6,605 (10.2%)	110.4%	94.4%	8,000 (11.2%)	121.1%
	経常利益	7,140 (11.2%)	113.5%	6,980 (10.8%)	111.0%	97.8%	8,200 (11.5%)	117.5%
	純利益	4,900 (7.7%)	111.2%	5,279 (8.2%)	119.8%	107.7%	5,530 (7.7%)	104.8%
	EPS 円/株	121.29		129.82			137.76	

【注】（ ）内の数字は各々の利益率を表します。「純利益」は「親会社に帰属する当期純利益」です。



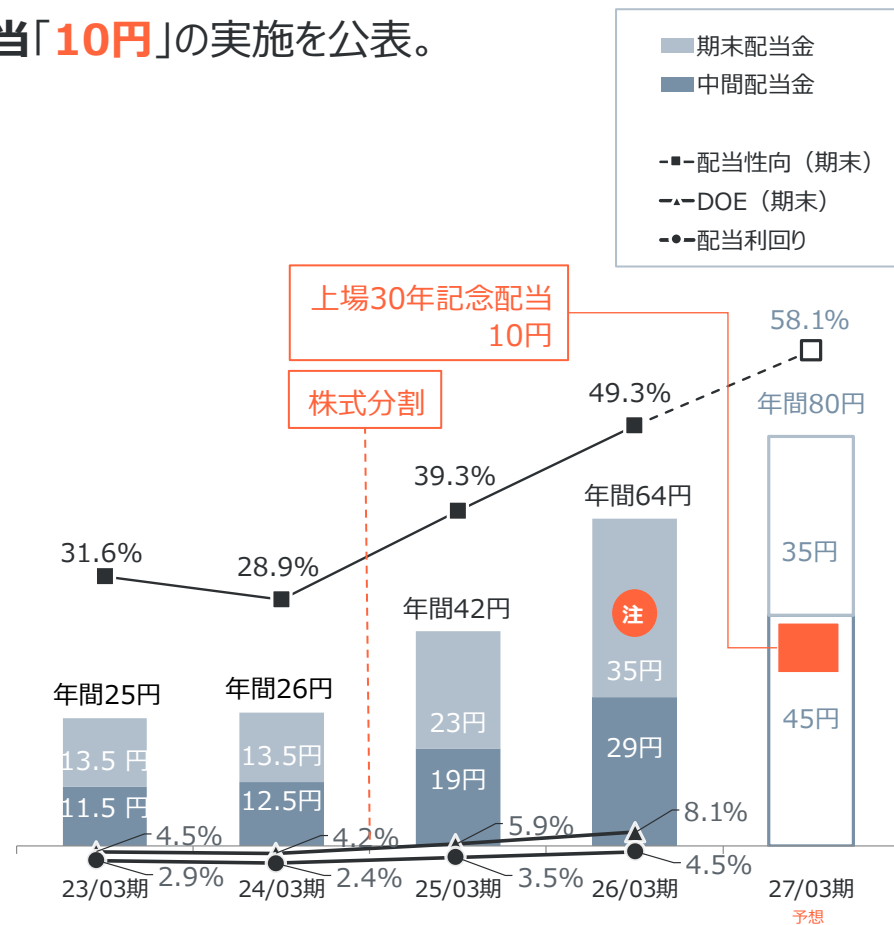
- 株主還元方針に則った配当を継続。
- 2026年5月8日に、2027年3月期の配当目標を「**70円**」と公表。
- 2026年7月31日に、中間配当において**上場30年記念配当「10円」**の実施を公表。

	24/03期	25/03期	26/03期	27/03期	
	実績	実績	実績	26/7/31 公表	増減
中間	25円	19円	29円	45円	16円
期末	27円	23円	35円	35円	0円
年間	52円	42円	64円	80円	16円
配当性向	28.9%	39.3%	49.3%	58.1%	8.8%
配当利回り	2.4%	3.5%	4.5%		
DOE	4.2%	5.9%	8.1%		
配当金の総額	1,070百万円	1,731百万円	2,588百万円		

[配当金の総額：百万円未満切捨]

株主還元方針

- 当社は株主のみなさまに対する利益還元を経営の重要課題と位置づけ、株主資本の充実と長期的な安定収益力を維持するとともに、業績に裏付けられた適正な利益配分を維持することを基本方針としております。
- 特段の株主優待は行っておりません。
- 配当に関しましては、原則、親会社株主に帰属する当期純利益の**50%**を目途に継続的に実現することを目指してまいります。



※上のグラフでは24/03期以前も24年7月1日付株式分割後ベースに換算した配当実績を記載。

注 2026年5月8日に公表した以下の株主還元策を実施中です。

・2026年5月11日から2026年11月30日まで、「合計1,000,000株または20億円」を上限に、自社株買いを実施しております。



ご参考

ご参考

1) 連結子会社の変遷

	2023年3月期				2024年3月期				2025年3月期				2026年3月期				2027年3月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
クレスコ・イー・ソリューション	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			
クレスコワイヤレス	【※4】	●	●	●	●	●	●	●	●											
アイオス	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			
クレスコ北陸	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			
シースリー	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			
クレスコ・デジタルテクノロジーズ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			
メクゼス	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			
エヌシステム	●																			
ネクサス	●																			
アルス	●																			
クレスコ・ジェイキューブ	【※1】		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			
クレスコベトナム	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			
エニシアス	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			
クレスコ・ネクシオ	【※2】	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			
日本ソフトウェアデザイン	【※5】				●	●	●	●	●											
ジェット・テクノロジーズ	【※3】								●	●	●	●	●	●	●	●	●			
オフィスメーション	【※6】																●			
子会社総数	13	11	11	12	12	12	12	12	13	11	11	11	11	11	11	11	12			

【※1】 2022年7月1日付けで連結子会社3社(アルス、エヌシステム、ネクサス)を合併し、「(株)クレスコ・ジェイキューブ」として再編

【※2】 2023年10月1日付けで「OEC」は「クレスコ・ネクシオ」に商号変更

【※3】 2024年4月1日付けで「ジェット・テクノロジーズ(株)」を子会社化

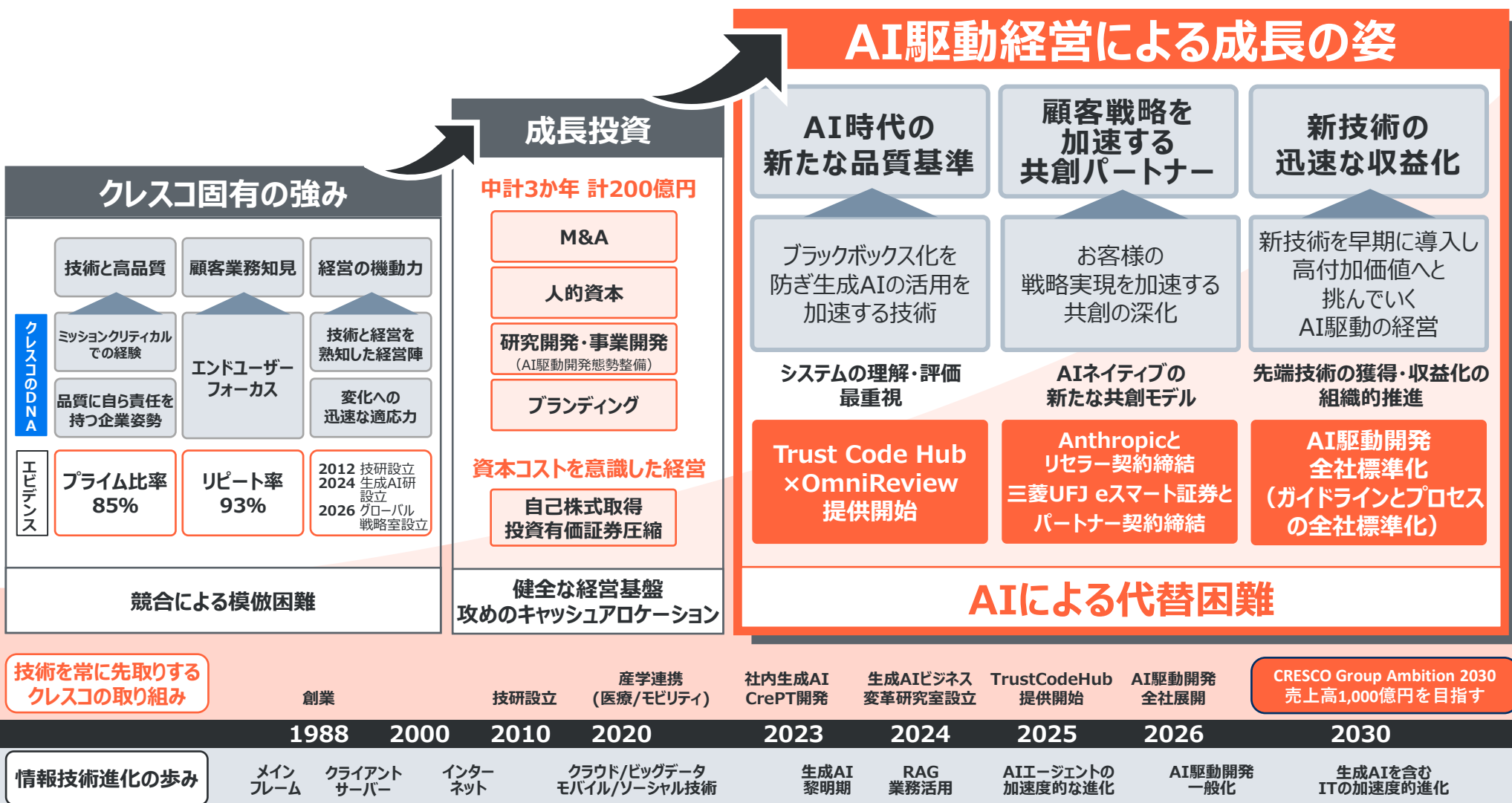
【※4】 2024年6月14日付けで「クレスコワイヤレス」の株式譲渡

【※5】 2024年7月1日付けで「メクゼス」が「日本ソフトウェアデザイン」を統合

【※6】 2026年4月1日付けで「(株)オフィスメーション」を子会社化

ご参考 ✖ 2) 生成AI時代に新たな品質基準で成長するクレスコ

- クレスコは、創業以来鍛えた技術を生成AIで新たな品質基準に進化させ、お客様の戦略実現を加速する共創パートナーへ成長する。
- 技術の進化を常に先取りすることで、先端技術をお客様とクレスコの企業価値に転換し、次世代のSI事業モデルへの進化を推進する。





3) 生成AIに関する直近の取り組み

- ・ AI・データ領域のサービス強化を目的に、Anthropic社とリセラー契約を締結、Amazon Bedrockで「Claude」の提供を開始しました。これにより、お客様の生成AI活用をワンストップで支援してまいります。



(2026年7月9日付 ニュースリリース)

<https://www.cresco.co.jp/ja/service/news/news9118364842406155158.html>

- ・ 独自のノウハウと強みを活かしたAI駆動開発の体制・プロセスを、全社標準の仕組みとして展開開始しました。



(2026年7月21日付 ニュースリリース)

<https://www.cresco.co.jp/ja/service/news/news3088079294528020685.html>

- ・ 三菱UFJ eスマート証券とのパートナーシップのもと、常駐体制の拡充やAI活用を進め、業務理解の深化と開発体制の強化を通じて、金融システムの品質・生産性向上を推進しています。



(2026年8月3日付 ニュースリリース)

<https://www.cresco.co.jp/ja/corpinfo/news/news5632045447515646588.html>

- ・ ソフトウェア品質向上ソリューション「Trust Code Hub」に多視点AIレビュー機能「OmniReview」を追加しました。



(2026年8月4日付 ニュースリリース)

<https://www.cresco.co.jp/ja/service/news/news-1430640200518157899.html>

ご参考 4) モビリティに関する直近の取り組み

- ・ 企業や学生の垣根を越えた技術交流の場である「自動運転AIチャレンジ2026」にシルバースポンサーとして協賛、また当社社員も同大会へ参加しております。



(2026年7月1日付 ニュースリリース)

<https://www.cresco.co.jp/ja/news/news3426958349397644260.html>



- ・ SDV分野のさらなる発展を目指し、名古屋大学 大学院 情報学研究科 附属組込みシステム研究センター（NCES）への寄付を実施しました。



名古屋大学大学院情報学研究科
附属組込みシステム研究センター
Center for Embedded Computing Systems, Nagoya Univ.

(2026年7月16日付 ニュースリリース)

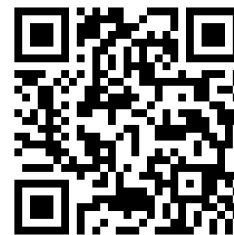
<https://www.cresco.co.jp/ja/corpinfo/news/news-7441803126030143475.html>



ご参考 5) 経営ビジョンと中期経営計画の詳細URL



【注】コーポレートロゴ変更に伴い、イメージ画像を変更しました。内容に変更はありません。



「経営ビジョン」の詳細

<https://www.cresco.co.jp/ja/corpinfo/vision.html>



「中期経営計画2026」の詳細

<https://www.cresco.co.jp/ja/ir/operation/plan.html>

中期経営計画

(2024年度～2026年度)

2024年5月10日

CRESKO 

株式会社クレスコ



免責事項

- ❖ 掲載内容については細心の注意を払っておりますが、掲載された情報の誤り等によって生じた損害等に関し、当社は一切責任を負うものではありません。
- ❖ また、本資料は投資判断のご参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。
投資に関する決定は、利用者ご自身のご判断において行われるようお願い申し上げます。
- ❖ なお、本資料における将来予測に関する情報および業績見通し等の予想数値や将来展望は、現時点で入手可能かつ合理的な情報による判断および仮定に基づき記述しております。
- ❖ 今後、リスクや不確定要素の変動および経済情勢等の変化により、予告なしで情報を変更したり、実際の業況や業績結果と大きく乖離するなど、本資料の内容と異なる可能性もございます。予めご了承ください。